八日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ケ月 金六十錢
□郵税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五八五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

閼伽井嵐

重責を果せ

TN生

隣り組を改組して常會も愈々實踐運動に入つたが然し形式だけ替へても何等意義を爲さぬから、區會の役員は隣り組を指導し、となり組又改善すべき點は遠慮なく上達して區會の役員を鞭撻し始めて下意上達が成るのである。

×

となり組長は配給機構を預つてゐるから、この方面が强化されるに從つて、組員の生活權を司つてゐることになり任務は頗る重い。從來組內から非難されてゐた點も配給問題が最も多く「人に物を賴んで禮にも來ない」などと不平を云ふ位の組長は良い方で、職責を惡用をして私服を肥すなどの惡德漢を聽くに至つては沙汰の限りである。これ等は當然組長たるの資格を失つたと思ふが、名譽職たるものは公益優先を忘れずに組內の面倒を見て貰ひたいものである。

“閼伽井嵐”論文募集
原稿、十三字詰、四十行以內
紙上匿名可、原稿に住所氏名明記のこと
【非難攻擊に亘らず指導的なものを選ぶ】

☆ ☆ ☆

文藝

原稿募集
種類 評論、短歌、俳句、川柳
題 隨意
分量 制限なし

歳寒私箋〔下〕

―文學者としての覺悟―

吉川英治

何よりは、この動流期にあたつて、机の人間が、少し浮きごしになつて、机から離れてゐる感じがしてならない。多くの机が多くの家に留守してゐて、机の主がみな街頭に出歩るいてゐる觀が近頃は見える。それでもつくゑの主がつくゑに歸つて來た場合、何ものかをつくゑ上にもたらして來るならいゝが、文學の生產面から觀て、さしたる實績もあがつてゐないのを見るとその大部分が、理由なき動搖を畢いて彷徨しに出かけた主だといふことか察しられる。

文學に生さんとするならば又、文學に依つてしか奉公の道のないわれわれは、どうなつても、つくゑの前よりほかに根をすゑる居どころはない筈である。かういふ事、つくゑからうごかないでめつたに人なかに姿も見せないやうなもの〻中に、案外ほんたうの憂國の文學者も臣道の實踐家もゐるのではないかといふ氣がする。（完）

川柳

師走小集

丹治賢一

○思はせてなか〱出さぬボーナス日
○ボロ靴も時代の波に見なほされ
○体操は逆立ち出來て甲になり
○逆立ちが出來れば地球輕いもの

上遠野英子

○朝寢坊したのでプラン樹て直し
○籔入の姉を密柑が待つて居り
○重役になつたつもりで八時に出

立石ひで

○日記帳今年こそはと書き初め
○思はせるやうに言つたが誤解され
○魚でも皮は皮だと靴屋言ひ
○籔入りに遊び足りない小僧さん
○寢坊してあちらこちらの時計を見

加藤香風

○日記帳かくも情熱ほとばしり
○神棚と知らずに蜘蛛は糸を吐き
○借りた本思はせぶりなとこを折り
○逆立ちをして一生を城の上
○籔入りを母年とつて出迎へる
○籔入りは嬉し霜燒見せられず
○青空を戀ふ逆立の足の裏
○逆立ち得意電氣を一と廻り
○寢坊した顏と守衛に思はれる
○寢坊してゐると齒刷子待たされる

短歌

本社文藝部選

“酒徒漫吟”

渡邊松久

酒飲めばいよゝ增しくる大丈夫の劍の心このこゝろはも
胸ぬちにほこりを抱き皇國の維新に向ひひたぶる我は
良き同志と暫し甘酒かはしるほろ〱醉ひて歌ごころ湧く
つきあひに飲む二日夜の美酒も今宵に限りほろにがきかな
酒に醉ひちどりになりて良き叔母と乙女に守られ家に歸りき

連續講談

異說赤穗浪士（いせつあかほらうし）

〔94〕

桃川若燕
畫 城木喬

姦婦の密談

狹い土地のことだから片ツ端から知れて村中では此の噂で持ち切り。

『氣の毒なもんだのう、仙右衛門はあゝやつて佛樣みたいな人おいのゝ奴が男を引込むに事を缺いて手の付けられない、二度も三度も牢に入つた傳五郎など〻不義淫奔、今に屹と間違ひが出來るぞ』

陰では噂するが、さて仙右衛門に會へば、

『お前のお內儀さんはこんな眞似をしてゐる』

とは誰も口に出して云ふ者がない。

すると間もなく傳五郎は舊惡が露顯してお召捕の上江戸へ差出てられ佃へ送られたが惡運の强い奴で間もなく戾つて來ると居るところがないのでおいのを口說いて同居をする、仙右衛門は、

『おいのやどうも彼男は世間の評判が惡いから、家へ置くのは不可ないと思ふが……』

『お前さん、そんなに喧しくお云ひでないよ、今はかい心して歸つて來たものだから置いてやつたらいゝぢやアないか人は一度惡い事をすると死ぬまで惡い人のやうに云ふけれど、ちよつとした氣の迷ひから惡い事をしても腹からの惡人のやうに思ふのは間違つてゐるよ――』

『……』

『妾が置いてあげると云つたものを今さら置かないなんて云つたら極りの惡い思ひをするぢやアないか』

『ウム』

佛みたいな人だから傳五郎を家へ置く事にした、その內に仙右衛門は海道筋の永井と云ふところに用が出來て朝早くから出て行つてしまふ、後で二人は酒を呑み乍ら

『おいの仙右衛門は何處へ行つた？』

『家の馬鹿かい永井まで用があつて出掛けたから今夜は歸るまいよ、時に妾アお前に相談したいんだけど』

『何んだい』

『家の宿六ね』

『ウン』

『お前さんを家に置いちやア不可ない、追ひ出せ〱つて云ふんだらう、それに此の頃ぢやア少しは感付いたやうなんだよ、知れると何ぼ呆槍でも打棄つて置くまいと思ふ』

『成程、俺も此の頃の仙右工門の顏付で、變だと思つた事もある、然うだな、おいの、いつそ仙右工門を殺しちまおうぢやアねえか』

『だけど却々力があるよ』

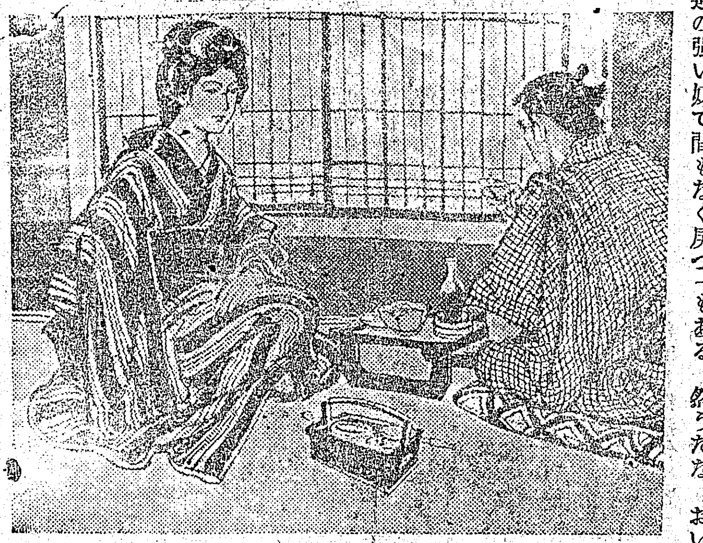
『大丈夫だ、仙右工門が歸つて來たらウンと酒を呑ましておいてくれ』

『アヽいゝとも』

密々の相談をしてゐるのを誰れ聞くまいと思ひの外次の間で寢てゐた子供の理吉、

『大變な事になつたな、お父さんは本當の親だが、お母さんは乳を呑ませてくれた人だと何時も聞いてゐる、日頃から可愛がつてくれるし、お母さんは殺せないが惡い奴は彼の傳五郎だ、傳五郎さへ殺せば眞逆にお母さんもお父さんを殺そうとはしないだらう』

氣象の勝つた子供で、疊間に研いた鉈が置いてあるのを幸ひ密つと起きると、それを持つて隣座敷へ入つて來て突然鉈を振り上げると傳五郎の胸元へザックリ突つ込んだ。



債券、公債
兩替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

日立製作所指定工場
機械製作舶陸
一般鐵工業
丸八鐵工場
場主 倉篠常八
小名濱町 電一七五

割烹 はまや
小名濱公園內
電話百廿番

日の出醬油
釀造元 綠屋商店
小名濱町（電話二十九番）
代理店
千代田生命保險相互會社
富國徵兵保險相互會社
日產火災海上保險株式會社

始めました
燗酒 おでん
ゆであづき お志るこ
大衆向きの 奥の松
營業所 第一酒場 第二酒場
小名濱町中島

齒科一般
佐々木齒科醫院
日本齒科醫學士 佐々木三郎
泉村小學校前 電話一番

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢

軍服と 高 國民服
高島屋の洋服
御注文並に既製品
平市二丁目通 電話三六八番

口腔外科、齒科一般
レントゲン科
門馬齒科醫院
院長 門馬忠男
小名濱町中島通

土木建築
鐵道船舶仲仕
三崎組（事務所）
太田勝康
小名濱町日素前 電話五〇番

磁氣應用治療（マグネタイザー適應症）
【循環器系統】血壓亢進症、動脈硬化症、心臟病、心悸亢進症、貧血症、肩の凝り、
【神經系統】神經衰弱、不眠症、神經痛、頭痛、小兒癲癇、腦溢血、腦充血、腦貧血、ヒステリー、腦膜炎、中風、
【消化器系統】胃痛、胃擴張、胃酸過多、胃痙攣、胃腸加答兒、脚氣、消化不良、便泌、下痢、胃潰瘍
【呼吸器系統】喘息、ルキレキ、肺炎、肋膜炎、肺尖加答兒、肺結核、感冒、
【泌尿生殖器系統】淋疾、消渇、腎臟炎、膀胱加答兒、副睾丸炎、性慾減退、糖尿病
【婦人科系統】子宮癌、月經不順、其他一般婦人病並に產前產後の諸病、淋毒性子宮疾患
【外傷 其他】打撲傷、脊髓カリエス、骨髓炎、骨膜炎、淋毒性關節炎、レウマチス、蓄膿症、耳鳴、中耳炎、痔疾、皮膚病一般等
平市田町（驛前）
シンガーミシン會社二階
物理療法磁惠院

お宅の体温計は正確ですか？
毎月十日は無料で体温計を檢査して差上げます、どうぞ御遠慮なくお持ち下さい

營業課目
醫療藥品 有名賣藥 食糧品 寫眞機材料 吸入用酸素
工業藥品 衛生材料 染料塗料 化粧品各種 計量器各種
計量器指定販賣所
みやこ染特約店
資生堂
小名濱町本町通り 電一四七

★ホシ ミクローゼ
1家に1個常備の
胃腸強生[illegible]
★H クスリはホシ

健康を生產する

ミクローゼは、酵母以上に生存力が强靭で、消化酵素を多量に產生する日本固有のピルツ（有効菌）と、アミノ酸・ビタミンを始め各種榮養素とを豐富に含む胃腸强生劑であります。故に、食慾を旺盛にし、正確・自然な便通をもたらし、榮養の吸收、附加を助け、逞しい健康を生產するのであります。

醫學博士・豊島豊次郎先生創製
一圓五〇錢 三六〇錠・一ケ月分

特に、左記症狀の方々に好適
各種胃腸疾患
食慾不振
常習便秘
結核諸症
脚氣諸症
腎臟炎
姙婦榮養補給

全國有名藥店にあり

東京・五反田
★星製藥株式會社

能食
能便
能眠
能動
ミクローゼ
HOSHI MICROSE

お醬油は
味噌、醬油
たひら正宗
鰹節、食料品
塩屋 山崎合名會社
福島縣平市
電話本店二〇番 營業部二七番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

附屬產院 新設
姙產婦入院隨意
產科 婦人科 木村病院
平市新川町 電話一六四番

病室增築、手術室完備
產科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

常會と行政區 分離されて
町内の機構が複雑化

翼賛會の機構を確立する爲、常會を行政區から全然分離させ、行政區……區内會と二木建にした結果、行政區の役員と常會の役員……防空群長と、となり組長と相錯綜し、行政區と區内會を同一視するもの尠なからず『各々の新機構を全市民に明示すべし』との聲があり、市當局も近く常會を通じて條令に依る行政區の任務と申合せの會合である常會との特質を廣く知らしめることに成つた

× × ×

行政區は市役所で決められた行政上の事務、即ち入學兒童の通知とか虎眼の檢診、或ひは市會で決められた色々な決議などを市民に傳達したり指導したりする市の補助機關である

區内會（常會）は法規に拘束されぬ精神的なもので大政翼賛會の基礎を爲すものであるが、米、木炭、綿製品其の他配給部門を受け持つ外生活改善や公益優先の建前で私生活を相互に叩き直さうと云ふ申合せの組織である

警防團 有事に際し防空と防火の重要な部門を擔任、自衛團、火防組、家庭防空群等が配屬されてゐる、常會の隣り組は便宜上群を單位としてゐるが實際的には今後防空、防火に備へ隣り組とは關係を斷たれた譯である

- 平市役所
  - 行政區
    - 組長
    - 委員
  - 衛生區
    - 組長
    - 世話係
- 大政翼賛會
  - 平支部 支部理事十名
    - 市協力會議（市常會委員）
      - 事務局
      - 企劃部
    - 市常會（委員五十名）─區内會─班長─隣組
- 警防團
  - 自衛團
  - 家庭防空群─火防組

公私生活刷新に
平常會の收獲
ごぶさらへをおこなひませう

昨報、平市初常會は公利生活と冠婚葬祭問題等生活刷新に關する市の提出事項に關し審議したが

葬儀に關する問題で香典を全市五十錢と統一することと通知書を小範圍に止めるか等の點で異論が出で、出産祝ひに關しても同樣意見が對立した爲『採決すべきにあらず』と宿題に殘して全案を保留した

尙提出以外の問題中左の事項を實踐することを申合せ直ちに下達することに成つた

◇三大節には學校側から一般に通知を發せず、市民は通告を受けずとも多數祝賀式へ參列すること

◇塵芥を溝渠へ捨てぬことと衛生上どぶさらへを相互に勵行すること

◇道路は無斷で使用せず必ず許可を求むること

田町區内會の
陣容整備す
區内會…班長…隣り組

平市田町區内會を整備する常會は七日夜平運輸樓上で開き新しく選ばれた隣り組長と班長、委員等參集協議の結果從來の委員制を廢し、區内會長班長、隣り組長と一本の流れとすることになり區内會長以下左の如く選任された

△區内會長、内藏悌治氏（現區長）△第一班長、酒井喜七△二班長、眞根井嘉門△第三班長、岩本重雄、第四班長、須藤鶴之助△第五班長、金古政通△第六班長 增子富治

班別隣り組長

△一班飯沼林一郎、丹野寧△二班、新妻愼治、大塚鳳三郎、森川泰一郎、箕輪爲吉△三同、鈴木武雄、淸野延由、小鍛冶永助△四同、江尻伊三郎、大竹庫、齊藤賢三△五同、鈴木健太郎、市井茂、鳥海菊五郎△六同石坂一雄、佐藤市四郎、渡邊淸美

市土木委員會

平市土木委員會は明八日午後一時から議事堂に開き左の議案を附議する

一、公園使用願の件

一、道路敷地買上願の件

銃後の赤誠

◇平市大工町馬目正子さん方舘内フク子さんは小遣錢を貯めた二圓を恤兵部へ献金、八日市兵事課へ寄託した

◇平市三丁目第七區では舊年度の決算で剩余を生じた六圓十一錢を市の銃後奉公會へ區長佐川三良さんが市役所へ持參した

◇平市授産場作業員柏原和子さんは四日授産場增築費の一部へ金十圓を寄附した

役場の新体制
小名濱で課制採用

小名濱町役場では新体制に即應すべく吏員の職場に大改革を斷行し從來の各部主任制を廢し『課』を設け各部門を五課とし各課長を置き町政の推進を計る事となつたが、その發表は上京中の小野町長の歸來を待つて公表する筈である

聖紀を記念して
校旗を贈る
三井榮一氏母校へ謝恩

平市の公益事業に莫大な寄附を爲し市民から尊敬と感謝の念を以て迎へられてゐる鑛山王三井榮一氏は母校である平第一校へ謝恩の意味で三百余圓を投じ聖紀二千六百年を記念する校旗を新調寄附することになり舊臘中注文を發したから今春の卒業式までには樹立式を擧げられる豫定で篠山校長は大喜びで語る

歴史ある第一校の現在ある校旗は影を止めるやうなもので學校を象徴するには粗末に失し、何とかせねば…と心を痛めてゐた次第で、聖紀を記念して新調樹立することの出來たことは感謝に堪へない、兒童と父兄を代表してお禮を申上げて置きました

小名濱海産商組合
統合に調印
業界の難問題も遂に解決

小名濱町の海産物關係業者、卸商業組合、鮮魚商組合、食料加工組合の三者合同問題は辛うじて妥協點を見出し去る四日鮮魚商組合樓上に三組合代表委各會を開き協議の結果商体制を整備すべく現在の三組合が一旦發展的に解消、統一ある強力組合結成を期し拍手裡に假調印を了し十四日錦盛館に委員會を再會して各組合の財産査定其の他具体案を協議、漁業組合と一元的に連繫する權威ある組合を結成することに成つた

今後の問題は何人を組合長に推すかにあり、現在の三組合長を各部長として各々の職場を擔任させ組合長を他から輸入して統轄することが組合の統制發展の上に最も無難とされてゐるが一部には思ひ切つて人事の刷新を斷行、加工業界の先達たる伊藤三男氏を組合長とする説と石橋を叩いて渡るの田中權次郎氏起用すべしとの聲もあり年産五百萬圓の加工食糧品と鮮魚を取扱ふ小名濱産業界を背負つて立つべき大人物を必要とする關係上、組合長選任は相當曲折を免れない模樣である

漁夫の暴行
己れも傷害
江名港でとんだ活劇

江名町大字江名字北町百五番地大久保卯之吉方漁夫前科一犯大内議(四二)は去る五日午後十二時頃同港在泊漁船平福丸に無斷で乘船した處を船長作山常利(三三)に注意を受けたのを憤慨、鉈を持ち出し作山船長の頭部に全治二週間の傷害を負はせ反對に作山に投げ飛ばされて同樣頭部に二週間の裂傷を負ひ平署に檢擧された

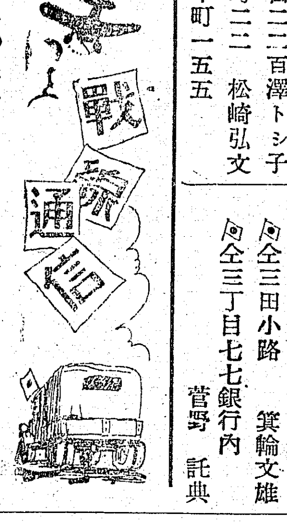
本社新年號
「漫畫懸賞發表」

本社新年號の『小供欄漫畫懸賞』の回答者は百餘名の多きに達し、中には『僕も大日本帝國の子供です、必ずこの言葉を守り立派な日本人になります』と非常時日本人として少年の覺悟を示した嬉しい答案もあり、正解者を抽籤の結果左の十名が當選致しました

【入賞者は御足勞ながら本社まで受取りに來て下さい】

正解 **忠君愛國**（ちゆうくんあいこく）

◎平市鎌田町六　酒井孝
◎全四丁目二二百　澤トシ子
◎全四軒町二三　松崎弘文
◎四倉町本町一五五
◎湯本町品川白煉瓦工場内　長谷川道
大宮三郎
◎小名濱町上町四八　御代君江
◎平市柳町一一　渡邊保
◎全三田小路　箕輪文雄
◎全三丁目七七銀行内　菅野託典



郷土部隊から
本社へ謝狀
北支派遣、部隊 石山虎夫

謹賀新年

新体制の銃後愈々御隆昌之段大慶至極に奉存候

陳者御地出身の健兒を有する當部隊の爲、日々有益なる新聞を御送付に預り誠に有難く厚く御禮申上候

御贈與に預かりし新聞は將兵一同熟讀玩味懷かしき故郷の近況銃後の活躍振り等を知得し一日の苦闘の疲れを醫し更に緊褌一番明日の奮闘を決意致し居る次第に御座候

想ふに歐亞聯盟の新体制下に進展する事態は益々複雜多岐を極め事變の前途も又逆賭し難く茲に聖戰下四年の新春を迎へ愈々自奮自勵以て聖戰の目的貫遂に邁進すると共に銃後各位の眞心に報い度所存に候間今後共何分の御後援を賜り度御願申上候

先づは御禮旁々御挨拶申述貴社の益々御發展あらん事を御祈り申上候

昭和十六年一月一日

蛇蛇蛇蛇

巳年と蛇

巳巳巳巳

（四）

高木稻水稿

へびの怪談で有名なものは雨月物語（上田秋成著、怪談小説）の中の「だ性の淫」であらう。

或男が俄雨に遭つて雨宿りをしてゐると、そこへ綺麗な女の人が來て一緒になる。それが縁になつて女の家に訪ねてゆくやうになる。ところがその女が實はへびであつたことがわかる。暫くするとそのへびがまた女に化けて男と一緒になる。その中にまたへびだといふ事があらはれて瀧の中へ逃げ込む。今度は男が妻を迎へるとその妻にへびが憑く。結局或坊さんの祈禱でやつとそのへびを調伏する。隨分執念深く、男につき纒うて惱ましたものである。

能や芝居に出て來る道成寺の安珍清姫の話は女がへびになつたといふ話で、前の雨月物語の話の逆を行つたものである。

道成寺といふのは紀州の寺の名である。安珍といふ旅僧がいつも泊る庄司の家の清姫といふ娘に慕はれ、姫から早く自分を妻にしてくれと口説かれる。女の執心に困つた旅僧は夜にまぎれて道成寺へ逃げ釣鐘を下してその下に隱れる。淸姫は折柄濁流滔々としてゐる日高川を大ぢやとなつて泳ぎ渡り、道成寺の釣鐘の龍頭をくはへ、鐘を七卷に卷き尾を以て鐘をたゝきとう〱鐘をとかしてしまふ。

さても恐ろしい女の一念で思ひつめたが最後、へびとなつても思ふ男を追ひかけるといふので八百屋お七以上である。

各地にある池や沼の傳説にはそのぬしとして大ぢやがあげられてゐる。そしてそれが美しい女となつてあらはれる事が多い、古今著聞集にもへびに就いての興味ある話があるが長くなるから傳説怪談は此邊でやめておかう。

3、へびと方言

オサガブへビ、青大將をいふ。青大將は神社のヌシだの家のヌシだのといはれて、好く神社や古い農家なんかに大切にされてゐる。オサガブへビは長株へびの意で、へびの中の長者、頭といふ意味から來たものであらうが、濱通りが主のやうで、當地方特種の方言のやうである。

ヤマガジへビ、やまかがしをいふ。やまかがしは「やまかがち」から來た訛音で「かがち」の「ち」は「をろち」「みづち(龍の一種蛟)」などの「ち」と同じものであらう。言海では山酸漿の意となつてゐる。酸漿はホホヅキのことで眼が赤く圓いのがホホヅキに似てゐるからといふのである。古事記のヤマタノヲロチの所では確かに目の説明に「かがち」のやうにと書いてゐるが、私はどうかと思ふ。

クソへビ、まむし(蝮)をいふ。これはかなり廣い範圍に用ひられてゐる。クソは勿論忌み嫌ふ意味の接頭語で、クソ度胸、クソ力などは同じ用ひ方である。（完）

四倉港の揚繰秋職
百萬圓突破
生鰮の高値で製造家悲鳴

四倉港十五年度（舊十二月末日）の秋職揚操業終了期を二旬の近くに控へ、七日までの收獲高は長谷川西次郎氏所有不動丸十七萬余圓を最高に總數八統の總收獲高は九十五萬圓に達し最終日の二十六日舊（二十九日）までには豫定の百萬圓を遙かに突破するものと見られてゐる

然し今年は初漁が遲れた關係から鰯は豫想外の高値を呼んで殆んど生魚のまゝ移出され鰮粕や頰刺等加工製造方面へ廻つた數量は前年に比し三分の一に減少、これが爲加工業者は生産激減で悲鳴を擧げてゐる

小名濱水工の
八紘丸入港
十八日南洋へ出漁

小名濱町水工經營に依る遠洋漁船八紘丸は愈々進水式を舊臘淸水港に擧げ三日三崎港に廻船し出漁準備用であつたが來る十三日三崎出航館山港に寄航の上十四日夕刻小名濱港に廻船の豫定である、尙入舟間もなく十八日には南洋上を目指して出漁する

青年經濟會で
今夜定期例會開く

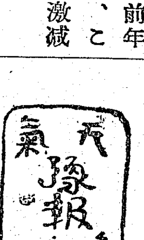
平青年經濟振興會定期例會は今八日午後六時半より常陽銀行樓上に開く

滿洲産の熊
平第二校へ寄附

平市搔槌小路出身山崎頴母氏は滿洲國キプレン營林署に勤務中、昭和十四年六月二十五日山林調査で捕へた小熊二頭を歸國に際し上野動物園に一頭を賣り、死亡した一頭を標本に納め今八日平第二小學校に寄贈した

大勝丸豊漁
南洋から第一報

小名濱町三代義勝氏經營の遠洋漁船第一大勝丸は處女航海として南洋海上に出漁中であつたが、この程滿船の入電あり遲くも本月十二三日頃には五六萬圓の大鮪を滿載して三崎港に入港する豫定である



八日

今晚　北東の風曇り後晴
明日　北東の風晴勝の天氣

滿潮　前二、四五　後〇、四〇
干潮　前四、三三　後七、四五

舊十二月十二日
木曜　丁巳　大安　定　斗宿
新一月九日

▲一白　良運に向ふべしと雖充分とらふに非ず注意
▲二黒　意外の僥倖を呈する日起業開店進んで吉し
▲三碧　傘の用意なくして時雨に遇ふが如き日注意
▲四綠　年末に迫りて物事思ふ樣に捗らぬ日病注意
▲五黄　勝氣に任せて遣り過ぐるは敗あり愼重大吉
▲六白　差障りなく氣樂に伸展する日起業開店皆吉
▲七赤　和合を大切とす又金錢の出入りに心を配れ
▲八白　運途旺盛にして當年最後の福祿備る大吉日
▲九紫　他より逆襲せらるゝ如き日辯口は殊に注意

平市慶弔錄

【出生】△平市堂の前二十二番地阿部久太郎長女千榮子さん△平市新町二十二番地成田末太郎長女寡和子さん

【婚姻】群馬縣桐生市東久方町金谷善介(三八)さんと平市胡摩澤百二十二番地桐谷つね(三二)さん

【死亡】△平市五丁目二十四綠川征子(四)△平市胡麻澤百十七番地片倉チか(四五)

七日より公開

松竹大船異色篇
原作光畑碩郎、監督大庭秀雄
三浦光子、朝霧鏡子、坂本武、豊島隆一
秘めたる心
年頃の美しい姉妹が望んだものは何？

松竹京都超特作
原作川口松太郎、監督笠井輝二
海江田讓二、大内弘、北見禮子
京都幹部總動員
一人信三郎
滂沱たる熱涙に蔽はれた男の世界、美しい友情のひらめきが一命をも賭して死を飾る壯絶の男ごゝろ

日活超特作御待望の名篇
原健作、阿部五郎、香川良介、尾上華丈、橘公子、香住佐代子
日活時代劇部員總主演
まぼろし城
謎は謎を生んで行く連續時代劇
山險峨々たるまぼろし城の要塞に討幕の狼火をあげた鐵假面の城主皆樣をいつしか事件の渦中に引きこんでゆく大衆映畫の陶醉境

其他　日本ニユース　海外ニユース
御觀覽料　大人五十錢　小人十五錢

松竹平館

鑛泉と割烹
鐵道指定旅館
小瀧
電話（小名濱）一〇三番

新刊書籍
月刊雜誌
特價圖書販賣店
三央堂
村山書店
平市驛前中央通り

御禮

去ル十二月廿四日草野村奉讃會主催縣社愛宕花園神社二千六百年記念祭典ハ會員加入壹萬名ヲ突破シ稀ニ見ル盛儀ヲ極メ目出度完了セリ是レ偏ヘニ加入會員皆樣ノ信心ノ賜ト謹ンデ感謝致シ候

昭和十六年一月
縣社愛宕花園神社奉讃會長
齒科醫　坂本惣次郎
草野村驛前

御禮御挨拶

今日平警防團の警防始め式に際し當社製造の太陽無機コロイド塗料の實驗を辱うし洵に有難く厚く御禮申上候

本日の實驗は兩側の家屋を同時に燃燒させたる上に偶然に未だ嘗實行せし事なき中心塗裝家屋内の燃燒物にも引火致して大火勢を起し一圓全く火の海と化したるにも拘ず六分間引火せず嚴然と耐火の目的を達し八分間位にして中心塗裝家屋の兩壁のみ燒失致したるも裏側及屋根は最後迄其のまゝ殘存するの結果と相成り申候

尙燒夷彈に對しては床の一部が圓く燒け拔けたるのみにて完全無欠に塗裝の目的を達したるは御高覧の通りに御座候

本實驗に關し平警察署長殿外各位、平警防團各位、市役所警防課各位の御盡力に對し感謝の外無之く一々拜趨御挨拶申上可き處甚だ勝手乍紙上御禮申上候

一月六日
京橋區室町三ノ七
太陽無機コロイド工業所
支配人　後藤叔久
販賣店　山田文一商店

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九・九九

内科、産科
婦人科
▽一般診療に應ず△
▽病室完備入院應需△
久保田醫院
小名濱町　電話二二番